

# 宮古新報

第15777号 (日刊) © 宮古新報社 2014年

発行所 宮古新報社  
沖縄県宮古島市平良字西里333-1  
郵便番号906-0012  
代表・(0980)73-1212  
FAX・(0980)73-1811  
e-mail:m-shinpo@ryucom.ne.jp

日第3種郵便物認可

## 食育

・学校保健会の食育講演が南小体育館で食育について学ぶ」をテーマに、子どもどう食べさせるかを参加した親子に講演考えてもらった。(9面に記事)

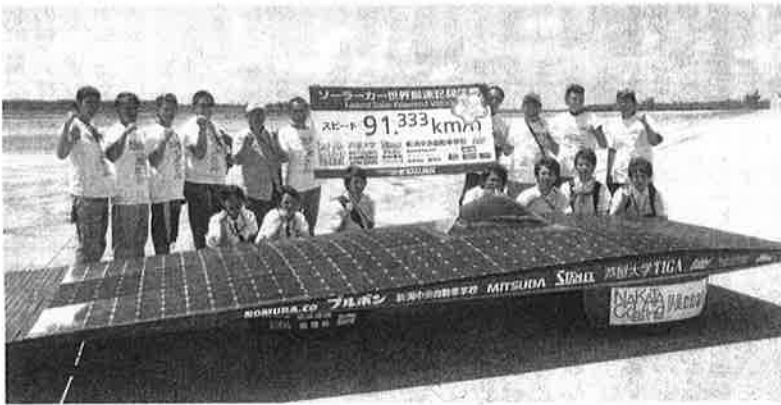
## 8 初めての野球っ子記録会

://miyakoshinpo.com/

# 世界新91.333km/h樹立

## 下地島空港での挑戦成功

### チーム シノヅカ 市長、利活用に期待込め



世界記録91.333km/hの樹立に喜びを見せるチーム SHINOZUKAの関係者ら=下地島空港

パリ・ダカールラリーで1年1月にオーストラリア日本人初のチャンピオンに輝いた経歴を持つ篠塚建次郎さん(85)が代表を務めるチームSHINOZUKAの「ソーラーカー」世界最速記録」挑戦が20日、下地島空港滑走路で行われた。午後零時過ぎから、201

録に申請中、22日にはギネス認定員立ち会いのもと、正式なる記録更新を目指す。記録は、1時間以内に500以上の往復を平均した。この日の挑戦は、午前11時過ぎからテスト走行で88・51km/hをマーク。太陽が真上にくる午後零時半ごろに合わせて零時20分過ぎから本番走行を始めた。関係者や見学の宮古工業高校の生徒らが見守る中、快調にラップを重ねたが1時過ぎに負荷のかかった後輪がバースト。しかし大まかに計算で新記録が確実視されたことから会場は関係者の笑顔でいっぱい。正式な記録と「祝・世界記録達成」などと記したボードを、何度も記念撮影を

行っていた。2年ぶりの挑戦での目標達成に、篠塚代表は「条件の整ったポリビブのソルトレイクであれば記録は出るだろうと思ったが、何とか国内で実現したかった。特別に使用許可を出してくれた沖縄県、全面的に協力した宮古島市に感謝したい」と話していた。立ち会った下地敏彦市長は「最高速記録を塗り替えるという快挙はすごい。それをこの下地島空港で作って頂いたのはありがたい。開かれ

【那覇 第30 号】

トライ専門委員会

## 辺

エコアイランド宮古島のピールになる。何か記念になるよう取り組んでも良いかな」と喜び、「やはりこの空港を何も使わずに置いておくのはとてももったいない。実際にエプロンに立って3000kgの滑走路の長さやソーラーカーの走りを感じるとそう感じる。県はこの空港の活用策をもっと真剣に考え、一日も早い利活用を進めてほしい」と語った。

増の7兆1526億円。サウジらの原油が6.9%増、オース